

令和3年度 (公財) 北海道サッカー協会

審判トレセン道東ブロックアカデミー①報告

報告者：土田浩貴 (十勝)

- ・日 時 令和3年7月3日 (土) 9時00分～14時00分
- ・会 場 十勝川河川敷サッカー場 Aコート
- ・運 営 土田浩貴
- ・参加者 鈴木辰汰 (北見柏陽高校1年) 坂口風寧 (白樺学園高校2年)
- ・研修内容 1. 実技 (2種：十勝地区FAU-18前期)



・参加者感想

副審をしてみたの感想は、旗を持つ向きだったり、オフサイドを取る前の準備だったり、とても細かい所をもっとこだわっていかないといけないと思いました。主審では、根拠のあるポジション取りが大切だと思いました。なんでその場所に立って何を見ているか、次の展開を読んで立ち位置を変えていく必要があるので、サッカーをするプレイヤーよりも拘っていく必要があるのだなと思いました。ポジション取だけでなく、倒れた選手に声をかけたり人としても成長できることを、このレフリーアカデミーで学ぶことができました。

いつもとは違うインストラクターに見てもらいましたが、いつもとはまた違った部分を指摘されてまだまだ突き詰めていかないといけないと思ったとともに、いつもとはまた違った視点の話も聞けて非常に実りのある研修でした。ですが、今回も自分の改善点である争点と距離と、プレーが止まっているときの動きはもう少し意識して改善していかないといけないと思いました。今回の経験を決して無駄にせず自分のものにいち早くなるようにこれからの審判活動を行っていこうと思いました。この度は貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

・まとめ

今回初めて他地区（オホーツク地区）のユース審判員の参加があり「交流」という部分でもとても有意義な研修会となりました。それぞれ主審・副審を担当してもらいましたが、2名とも場数を踏んでおり毅然としたレフリングでゲームをコントロールしていました。

振り返りでは、「ポジショニング」、「ファウルの判定」について質問した際に「根拠」を持って説明していたのが印象的でした。修正の部分については自分が納得するまで質問を重ね、次にいかそうという姿勢が強く感じられました。また、振り返りの際に、「プラクティカルトレーニング」を経験したいという要望があったので、次回は実施できるように計画を立てたいと考えています。最後に今回の研修会に協力いただきました帯広南商業の皆様ありがとうございました。

レフリーアカデミー道東十勝担当 土田浩貴